

# お知らせ掲示板

- 15歳までの入通院のこども医療費の窓口払いがなくなります。**(完全無料化)**  
平成15年から16年までは、窓口で医療費を支払わなくても良かったのですが、17年から一旦支払って後から口座に振り込まれる償還払いとなりました。あれから5年間、窓口払いをなくして、いつでも子供が医者にかかれるようにと訴えてきたことが実現され、**平成23年1月から医療機関での支払いがなくなります。**また変わらないことを祈ります。
- 市職員「小川亜希さん」がバンクーバー2010パラリンピック冬季大会に出場  
小川亜希さんが、障害を克服して、車椅子カーリングに日本代表として出場しました。スポーツマンだった小川さんが、スキーで事故にあい、車椅子生活を余儀なくされましたが、それに負けずに頑張っている姿は、私達に勇気を与えてくれますね。私も勇気を沢山いただき、今回の決心に至りました。**小川亜希さん ありがとう！！**
- このとりの署名について  
この通信でもお願いしました「このとりを鴻巣で飼育しよう」の署名が皆様のご協力により17,303名集まりました。現在も「このとりを育む会」で署名活動をしています。  
ご協力宜しくお願いします。
- 工業団地通線の供用開始時期について  
地下道工事の掘削時に湧き水がでたため、工事が1ヶ月遅れ、本線工事の完了は4月末になる見込みです。供用開始は5月上旬の予定です。
- 鴻巣市の新成人  
1月10日に、クリアこのすで、平成22年の成人式が行われましたが、今年の成人者は、1,346名です。**夢と希望を忘れずに社会に出ても頑張ってね！**

**おだきょんに対する要望(23)** 1人で悩まずに相談にきてください。年中無休  
 <個人情報に関することは載せていません>

## 市民さん(4人の方から)

- 1、カーブミラーの角度調整
- 2、指定管理者の態度、インターネット予約の対応の改善。
- 3、防犯灯の設置(南小学校裏)
- 4、カーブミラーの設置  
(平成22年度の予算で対応)



## おだきょん

- 1、市の担当課にお願いし角度を調整してもらいました。
- 2、担当課に厳重に注意と改善を頼みました。
- 3、チカン対策でつけてもらいました。
- 4、今年度の予算がないため、22年度予算で対応するそうです。

4 また、お会いしましょう！！

教育

# おだきょん通信31号

福祉

## 平成22年3月議会報告



志あれば 実行するのみ

## おだ京子

鴻巣市議会議員 無所属

本気で鴻巣を考えています！！  
**少子・高齢社会の「今」**  
**政治に「女性」が必要です。**

発行/京子フォーラム

編集/織田京子

市民相談事務所：鴻巣市東2-1-8

TEL 048-543-8622

FAX 048-543-8625

ホームページ <http://odakyon.com>

メール [odakyon@amber.plala.or.jp](mailto:odakyon@amber.plala.or.jp)

自宅 鴻巣市宮地1-2-31

市民の皆様いかがお過ごしでしょうか？

**市民の皆様の笑顔が私の活動の支えです！！**



<市民の皆様にお知らせします>

- \*平成22年3月をもちまして、市長与党会派をぬけて、1人の会派で頑張ってみようと思います。その理由として、
- 1、市長から何の説明もなく、補正予算がだされ、おかしいと思いながらも、市のためと賛成してきた事への、心の痛みに耐えられなくなった事。(私に勇気がなかった)
- 2、億単位の補正が出るということは、市長に鴻巣市のビジョンがないということ。
- 3、市民の皆様の生活に密着した部分、福祉は、特に働く女性支援・教育は耐震に予算がいき、教育費に予算が取れていないこと。
- 4、もっと**柔軟な行政**をと提言して来ましたが、なされていないので、**困っている方**が大勢います。そういう方達の側に立って、**戦っていこうと決心**したからです。  
これらの政策を頑張っってやっていきたいと思いますので応援してください！！

\*この通信は、自己作成し本人と多くのボランティアさんとで配っています。ボランティアさん募集中！

# 鴻巣市の未来が不安！！

私は、3期8年間、与党の議員として、原口市長を助けて、市民の皆様の生活を守るために、提言をしてきました。

しかし、数年前から、原口市長は、広く市民の皆様の意見や議員の考えを聞かずに、事業を進めることが多くなってきました。**今の行政は不透明であります。**

例えば、障がい児の学童保育ですが、障がい児の場合、6年生まで学童保育で預かってもらえますが、中学生になると、預かってもらえる場所がありません。障がい児がいても働きに行かなければならないお母さんにとっては大変な問題です。

現在事例は1人なので、そのまま学童保育に預けられれば1番いいのですが、条例改正をしなければ出来ないというのが市の答えです。

では、条例を改正すれば出来ることはすぐに実行すべきです。また、市長の考えで特例を認められる事なら、認めていかなければなりません。**私ならそうします。**

時間ばかりかかっているのは、その間市民は苦勞をして耐えなければなりません。

**1人の市民を救うことは、すべての市民を救うことに繋がるはずで。**

元気なお年寄りには、楽しめる場を、介護の必要なお年寄りには介護の充実を、保育所の入所規定の緩和や、条例を変更すれば出来るものは速やかにさねばなりません。

**<赤ちゃんからお年寄りまでのチームワークのまちづくり>**

今、一番大切なのは、**雇用対策**でしょう。

お父さんが元気でないと、家族が沈んでしまう。ハローワークと提携しながら、市が率先して雇用の援助をしなければならない時期が来ています。

**市バスフラワー号の時間と時刻表とコースの見直しが必要**です。

バスを乗り換えて1日600円もかかるのでは、市バスの意味がありません。病院と福祉施設を結ぶ専門のバスも必要ですね。

**子供の遊び場**も必要です。上尾市にある「こどもの城」のようなものが鴻巣市にもあればいいですね。(市内、市外問わずに、無料でこどもと親御さんがのびのびと遊べる場所です。お母さんのコミュニケーションの場であり、中にこども図書館も体育館もあります。)

また、**学校体制の見直し**・・・いじめや不登校対策、給食のアレルギー児童の対策、放課後教室の設置、土曜日に親が勤めに行って、家で留守番をしている子供の対策、DV、児童虐待防止対策には親に学習してもらうことが大切です。

**駅ビルとE地区も視野に入れた商店街を結んでの景気対策。**

↳ (E地区とは、中山道、元ミスタードーナツ周辺)

**安くて美味しい水の提供。**生活保護を受けている1人暮らしの方の水道代が一番高く、お風呂もぎりぎりまで我慢しています。という相談も受けています。公営企業では無理があります。プロを活用しての**PFI事業**で行う必要があるでしょう。(PFI事業とは民間の資金、経営能力、技術的能力を活用して効率的、効果的に公共事業のサービスを提供する事)

特に**川里地区と吹上地区**には、**もっと住民の声を聞いて、行政がやってやるのではなく、何をして欲しいのかをよく聞いて行うべきです。**(道路や橋の改修や集まれる場所)

**総合病院の誘致は困難**です。私は**今ある病院のベットを増床し診療科目を増やして、医療関係者と協力した新しい病院を3年以内に予定しています。ぜひ成し遂げたい**と思います。

みんなに必要な介護保険、でも高い保険料。元気で介護保険料は払っているけど一度も使っていない方。**1年間、介護保険を使わなければ、市からプレゼントが来る**というのも元気でいる励みになりますね。

以上のことを実現していくために  
**私は市長に立候補することを決心しました。**

